

幼稚園幼児指導要録に記載する事項

○ 学籍に関する記録

学籍に関する記録は、外部に対する証明等の原簿としての性格をもつものとし、原則として、入園時及び異動の生じたときに記入すること。

- 1 幼児の氏名、性別、生年月日及び現住所
- 2 保護者（親権者）氏名及び現住所
- 3 学籍の記録
 - (1) 入園年月日
 - (2) 転入園年月日
 - (3) 転・退園年月日
 - (4) 修了年月日
- 4 入園前の状況
保育所等での集団生活の経験の有無等を記入すること。
- 5 進学先等
進学した学校や転園した幼稚園等の名称及び所在地等を記入すること。
- 6 園名及び所在地
- 7 各年度の入園（転入園）・進級時の幼児の年齢、園長の氏名及び学級担任の氏名

○ 指導に関する記録

指導に関する記録は、1年間の指導の過程とその結果を要約し、次の年度の適切な指導に資するための資料としての性格をもつものとする。

1 指導の重点等

当該年度における指導の過程について次の視点から記入すること。

(1) 学年の重点

年度当初に、教育課程に基づき長期の見通しとして設定したものを記入すること。

(2) 個人の重点

一年間を振り返って、当該幼児の指導について特に重視してきた点を記入すること。

2 指導上参考となる事項

(1) 次の事項について記入すること。

① 1年間の指導の過程と幼児の発達の姿について以下の事項を踏まえ記入すること。

- ・ 幼稚園教育要領第2章「ねらい及び内容」に示された各領域のねらいを視点として、当該幼児の発達の実情から向上が著しいと思われるもの。その際、他の幼児との比較や一定の基準に対する達成度についての評価によって捉えるものではないことに留意すること。
- ・ 幼稚園生活を通して全体的、総合的に捉えた幼児の発達の姿。

② 次の年度の指導に必要と考えられる配慮事項等について記入すること。

(2) 幼児の健康の状況等指導上特に留意する必要がある場合等について記入すること。

3 出欠の状況

(1) 教育日数

1年間に教育した総日数を記入すること。この教育日数は、原則として、幼稚園教育要領に基づき編成した教育課程の実施日数と同日数であり、同一年齢のすべての幼児について同日数であること。ただし、転入園等をした幼児については、転入園等をした日以降の教育日数を記入し、転園又は退園をした幼児については、転園のため当該施設を去った日又は退園をした日までの教育日数を記入すること。

(2) 出席日数

教育日数のうち当該幼児が出席した日数を記入すること。

4 備考

教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動を行っている場合には、必要に応じて当該教育活動を通じた幼児の発達の姿を記入することも可能であること。

5 記入に当たっての配慮事項

学校教育法施行規則第24条第2項において小学校等の進学先に指導要録の抄本又は写しを送付しなければならないこととなっていることから、指導要録の写しを送付する場合における指導要録の作成に当たっては、小学校等における児童の指導に活用すること等を踏まえわかりやすく記入すること。抄本を作成する場合においても同様であること。

幼稚園幼児指導要録(学籍に関する記録)

区分	年度		年度		年度		年度	
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
学 級								
整理番号								

幼 児	ふりがな 氏 名				性 別	
		平成 年 月 日生				
	現住所					
保 護 者	ふりがな 氏 名					
	現住所					
入 園	平成 年 月 日	入園前の 状 況				
転入園	平成 年 月 日					
転・退園	平成 年 月 日	進学先等				
修 了	平成 年 月 日					
幼稚園名 及び所在地						
年度及び入園(転入園) ・進級時の幼児の年齢	平成 年度 歳 か月					
園 長 氏名 印						
学級担任者 氏名 印						

幼稚園幼児指導要録(指導に関する記録)

ふりがな		平成 年度		平成 年度		平成 年度		平成 年度	
		(学年の重点)		(学年の重点)		(学年の重点)		(学年の重点)	
氏名		指導の重点等							
	平成 年 月 日生								
性別		ねらい (発達を捉える視点)							
健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。	指導上の参事項							
	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。								
	健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。								
人間関係	幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。	環境							
	身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。								
	社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。								
言葉	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。	表現							
	身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。								
	身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。								
言葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	出欠状況		備考					
	人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。								
	日常生活に必要な言葉がわかるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。								
表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。								
	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。								
	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。								
出欠状況	年度	年度	年度	年度					
教育日数									
出席日数									

学年の重点：年度当初に、教育課程に基づき長期の見通しとして設定したものを記入

個人の重点：一年間を振り返って、当該幼児の指導について特に重視してきた点を記入

指導上参考となる事項：

- (1) 次の事項について記入すること。
 - ① 1年間の指導の過程と幼児の発達の姿について以下の事項を踏まえ記入すること。
 - ・幼稚園教育要領第2章「ねらい及び内容」に示された各領域のねらいを視点として、当該幼児の発達の実情から向上が著しいと思われるもの。
 - ・その際、他の幼児との比較や一定の基準に対する達成度についての評定によって捉えるものではないことに留意すること。
 - ・幼稚園生活を通して全体的、総合的に捉えた幼児の発達の姿。
 - ② 次の年度の指導に必要と考えられる配慮事項等について記入すること。
- (2) 幼児の健康の状況等指導上特に留意する必要がある場合等について記入すること。